

利家と松の寺 曹洞宗 護国山
宝円寺 平家琵琶の調べ
～平家の語りと琵琶の調べ～

日時 平成27年6月13日(土)午後6時～午後7時30分
場所 護国山 宝円寺
主催 宝円寺
入場 1,000円
出演 平曲弾き語り奏者 荒尾 努
お問い合わせ先 宝円寺 電話:076-231-6050



講師 荒尾 努 プロフィール

平曲(正調平家琵琶)弾き語り奏者。1979年東京生れ。1999年故金田一春彦先生・須田誠舟先生の下で、平曲を学び始め、現在も指導を受ける。現在は、慶應義塾大学法学部政治学科を卒業後、三菱重工業(株)防衛・宇宙ドメインに勤めながら、数少ない平曲継承者として、一人でも多くの人に平家の語りを聞いてもらうため、平家一門の素晴らしさを伝えるために、平家ゆかりの厳島神社や宮崎県椎葉村を始め、国土交通省の観光ルネサンス事業、全国の神社仏閣、中学校、平家に関連する各種イベントを中心に積極的に演奏、講演活動を行っている。また、2005年からは宮島観光大使に就任、2007年からは慶應義塾大学非常勤講師となり、活躍の場を広げている。2014年からは平家伝習所を開所し、弟子の育成にも当たっている。

ANA機内番組「SKY EYE 山口編」NHK総合テレビ「探検ロマン世界遺産」やWOWOW「美術のゲノム」などにも出演、映画「禅 ZEN」で琵琶演奏を担当するなどメディアでも活躍中。
ホームページ <http://homepage3.nifty.com/heikebiwa-arao/>

演奏曲

平曲とは平家を語り、琵琶を弾じる盲目の琵琶法師達によって語りつかれてきた800年続く日本の伝統文化。耳なし芳一が平家の亡霊たちの前で弾き語った平家一門への鎮魂の語り。

今回は平家物語の中でも最も有名な4曲を聴いていただきます。平家が作り上げた美学は脈々と日本人に受け継がれていきます。

「祇園精舎」平家物語の冒頭「祇園精舎の鐘の声～」を本来の語りの姿で聴いて頂きます。

「敦盛最期」文部省唱歌「青葉の笛」で有名な物語。源平一の谷の戦いで平敦盛と熊谷直実の美しい遣り取りと悲しい敦盛の最期を描く多くの人の涙を誘う名場面です。

「那須与一」平家物語の中でも最も有名な物語。源平屋島の戦いで、海上の扇を那須与一が見事に射落とす場面。語りで矢が放たれ、扇が射落とされるシーンは語り物の真骨頂です。

「先帝御入水」平家の最後の戦い壇ノ浦合戦の名場面。平清盛の妻二位の尼時子に抱かれて、安徳点天皇が西海に没します。「波の下にも都の候ぞ」、耳なし芳一が平家の亡霊たちの前で語り一斉に涙した場面、和漢混交で最も美しい語り。